

# 但馬の経済指標

令和7年1月～3月

兵庫県但馬県民局

## 【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より4.5ポイント悪化し、-0.4となった。

②有効求人倍率は、3月期1.53倍。前年同月と比べて0.03ポイント増加した。

	項 目	今期(1月～3月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫 △ 0.4	△ 4.5	+ 6.2	
2	雇用	3月	対前月(増減)	対前年同月(増減)	
		有効求人倍率	1.53	△ 0.01	+ 0.03
		3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		有効求人数(人)	3,839	△ 0.44	△ 5.28
		有効求職者数(人)	2,516	+ 0.16	△ 6.81
	雇用保険受給者実人員(人)	394	0	△ 0.76	
3	金融	3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		普通貸付残高(百万円)	11,366	△ 1.66	△ 7.98
		3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		信用保証承諾額(百万円)	598	△ 1.32	△ 57.38
	信用保証債務残高(百万円)	52,579	△ 0.79	△ 8.06	
4	公共工事	3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		公共工事請負金額(百万円)	4,074	+ 195.00	+ 91.90
参考	企業倒産(全県)	今期(1～3月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		件数	158	+ 15	+ 1
		負債総額(百万円)	11,804	+ 145	+ 1,856
5	地場産業	豊岡かぼん	売上高、生産量、収益とも変わらず。	売上高、生産量、収益ともやや少ない。	

# 1 業況判断

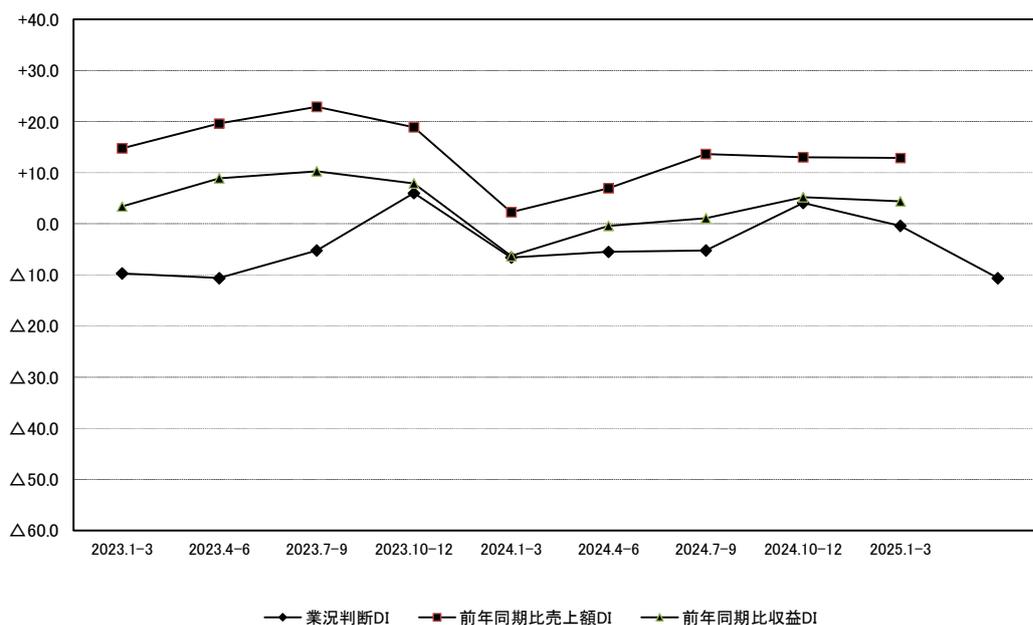
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より4.5ポイント減少し、-0.4となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが-10.6となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは12.9、同収益DIは4.4となった。

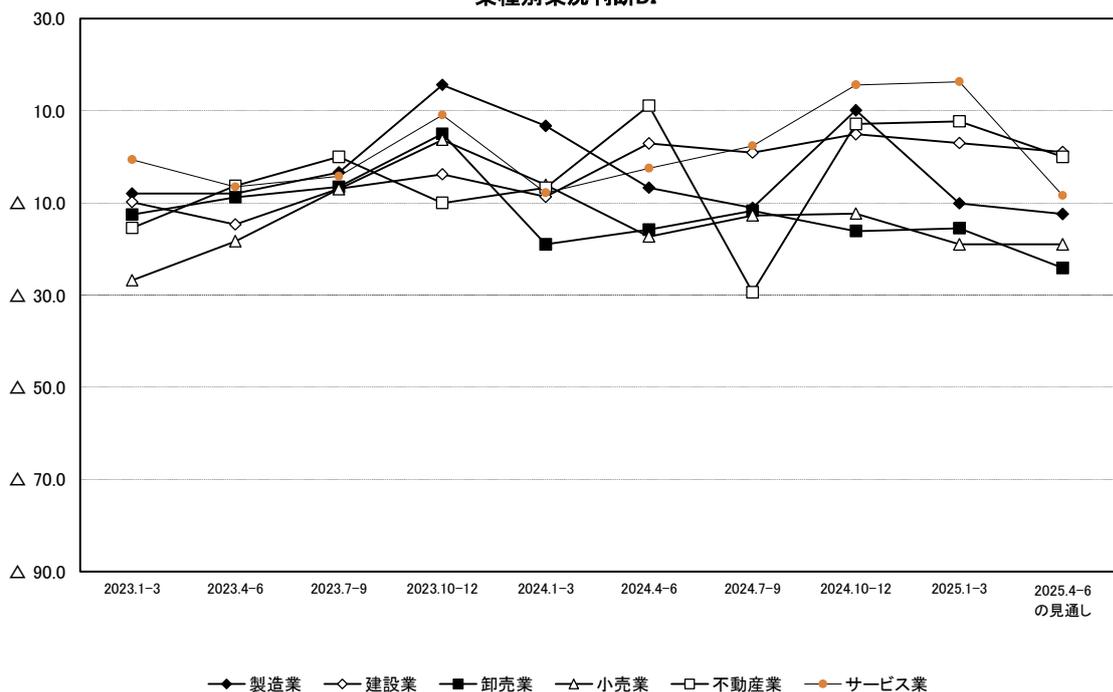
業況判断DIの推移



	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6の 見通し
業況判断DI	△9.7	△10.6	△5.2	+6.0	△6.6	△5.5	△5.2	+4.1	△0.4	△10.6
前年同期比売上額DI	+14.8	+19.6	+22.9	+18.9	+2.3	+7.0	+13.7	+13.0	+12.9	-
前年同期比収益DI	+3.4	+8.9	+10.3	+7.9	△6.3	△0.4	+1.1	+5.2	+4.4	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

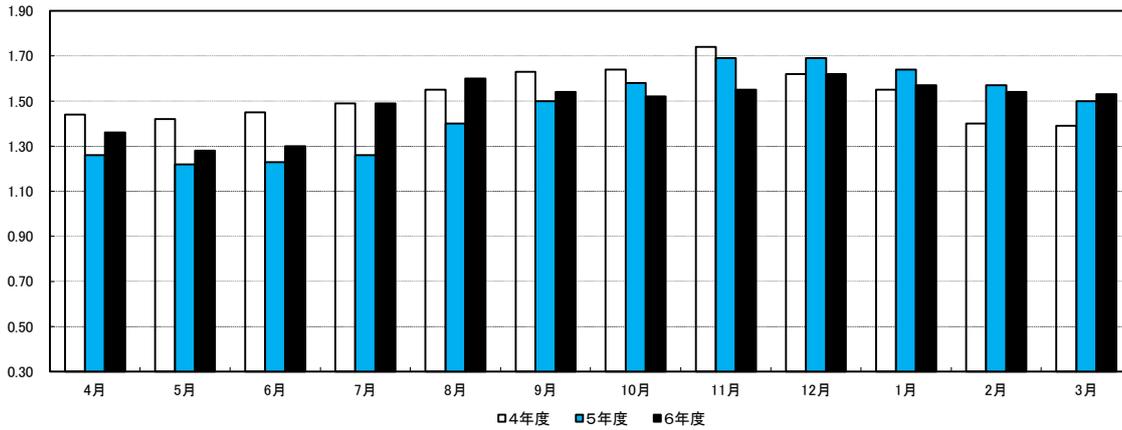


	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6 の見通し
製造業	△ 8.0	△ 8.0	△ 3.4	15.6	6.7	△ 6.7	△ 11.1	10.1	△ 10.1	△ 12.4
建設業	△ 9.8	△ 14.7	△ 6.9	△ 3.8	△ 8.7	2.9	0.9	4.9	3.0	1.0
卸売業	△ 12.5	△ 8.8	△ 6.5	5.0	△ 19.0	△ 15.8	△ 11.7	△ 16.1	△ 15.5	△ 24.1
小売業	△ 26.8	△ 18.3	△ 7.0	3.7	△ 6.1	△ 17.3	△ 12.7	△ 12.3	△ 19.0	△ 19.0
不動産業	△ 15.4	△ 6.3	0.0	△ 10.0	△ 6.7	11.1	△ 29.4	7.1	7.7	0.0
サービス業	△ 0.6	△ 6.5	△ 4.2	9.1	△ 7.8	△ 2.5	2.4	15.6	16.3	△ 8.4

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

## 2 雇用

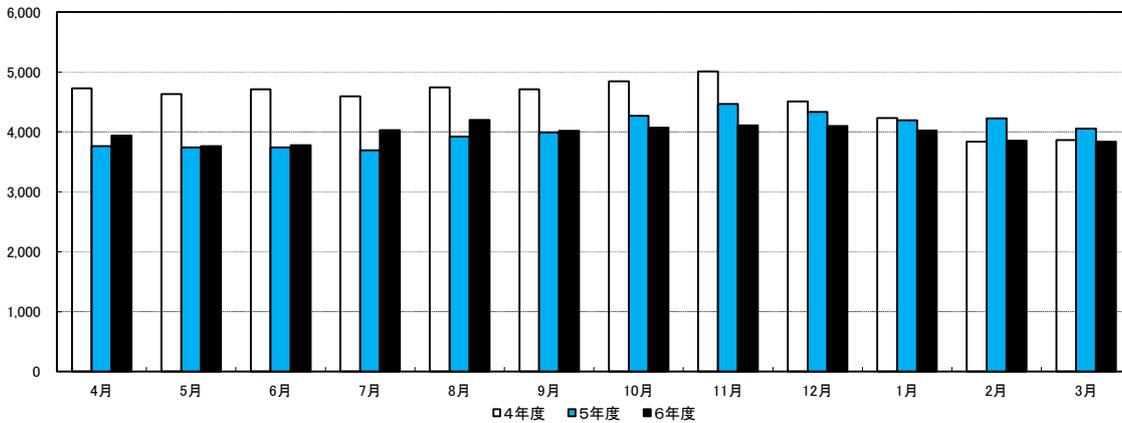
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63	1.64	1.74	1.62	1.55	1.40	1.39	1.53
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69	1.64	1.57	1.50	1.46
6年度	1.36	1.28	1.30	1.49	1.60	1.54	1.52	1.55	1.62	1.57	1.54	1.53	1.49
対前月(増減)	-0.14	△0.08	+0.02	+0.19	+0.11	△0.06	△0.02	+0.03	+0.07	△0.05	△0.03	△0.01	—
対前年(増減)	+0.10	+0.06	+0.07	+0.23	+0.20	+0.04	△0.06	△0.14	△0.07	△0.07	△0.03	+0.03	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

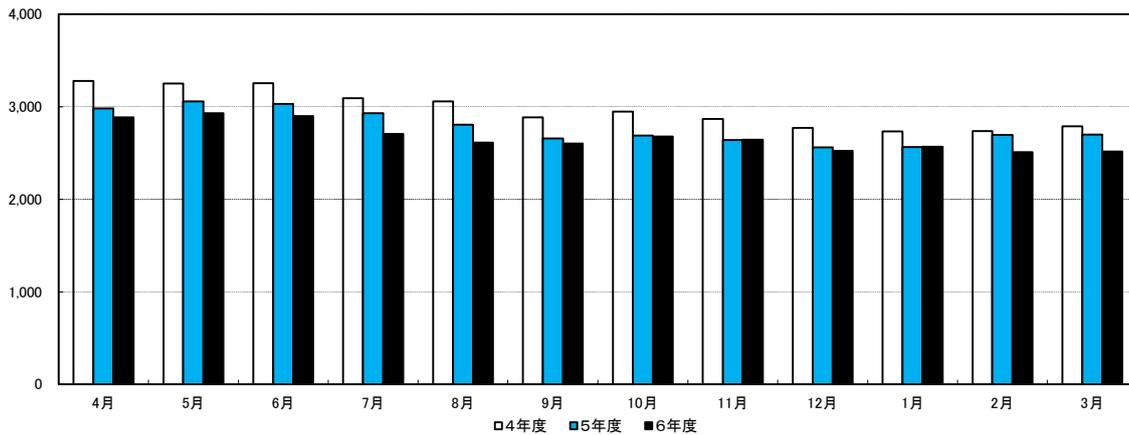
有効求人人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713	4,844	5,008	4,507	4,234	3,838	3,866	4,535
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331	4,193	4,223	4,053	4,032
6年度	3,939	3,765	3,779	4,030	4,197	4,019	4,073	4,113	4,096	4,026	3,856	3,839	3,978
前月比(%)	△2.81	△4.42	+0.37	+6.64	+4.14	△4.24	+1.34	+0.98	△0.41	△1.71	△4.22	△0.44	—
前年同月比(%)	+4.68	+0.67	+1.07	+9.13	+6.96	+0.68	△4.50	△7.88	△5.43	△3.98	△8.69	△5.28	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

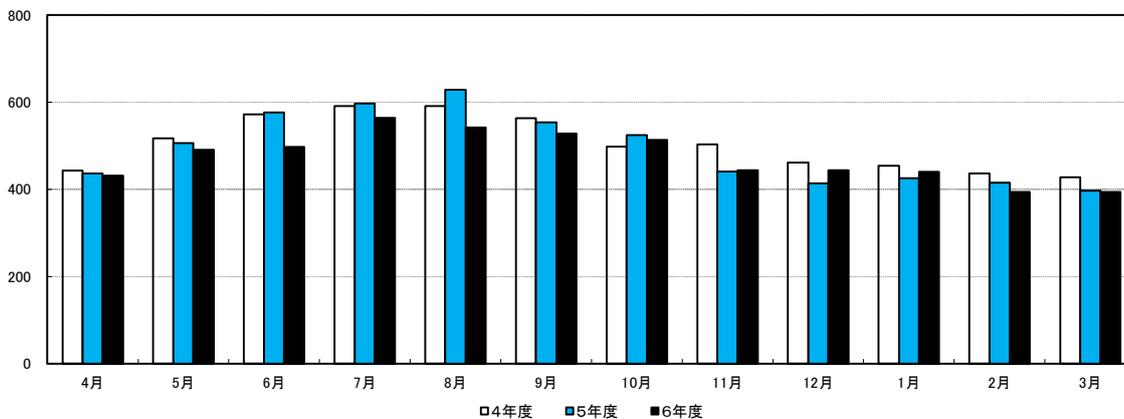
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886	2,946	2,870	2,774	2,735	2,737	2,791	2,973
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562	2,564	2,695	2,700	2,776
6年度	2,887	2,931	2,900	2,708	2,615	2,604	2,677	2,647	2,523	2,567	2,512	2,516	2,674
前月比(%)	+6.93	+1.52	△1.06	△6.62	△3.43	△0.42	+2.80	△1.12	△4.68	+1.74	△2.14	+0.16	—
前年同月比(%)	△3.15	△4.15	△4.29	△7.58	△6.74	△2.07	△0.52	+0.27	△1.52	+0.12	△6.79	△6.81	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

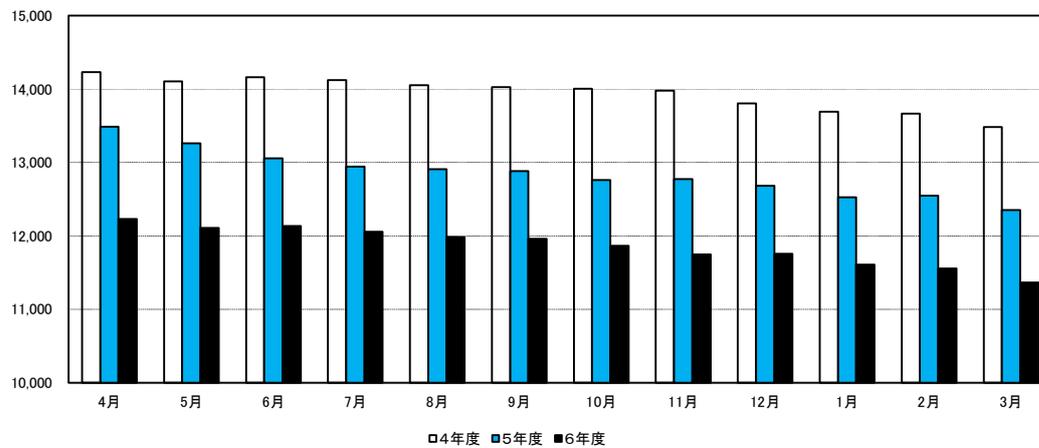


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	443	517	572	591	591	563	498	503	462	454	437	428	505
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414	426	415	397	493
6年度	431	491	497	564	542	528	514	444	444	440	394	394	474
前月比(%)	+8.56	+13.92	+1.22	+13.48	△3.90	△2.58	△2.65	△13.62	0.00	△0.90	△10.45	0.00	—
前年同月比(%)	△1.37	△2.96	△13.72	△5.53	△13.83	△4.69	△1.91	+0.68	+7.25	+3.29	△5.06	△0.76	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

### 3 金融

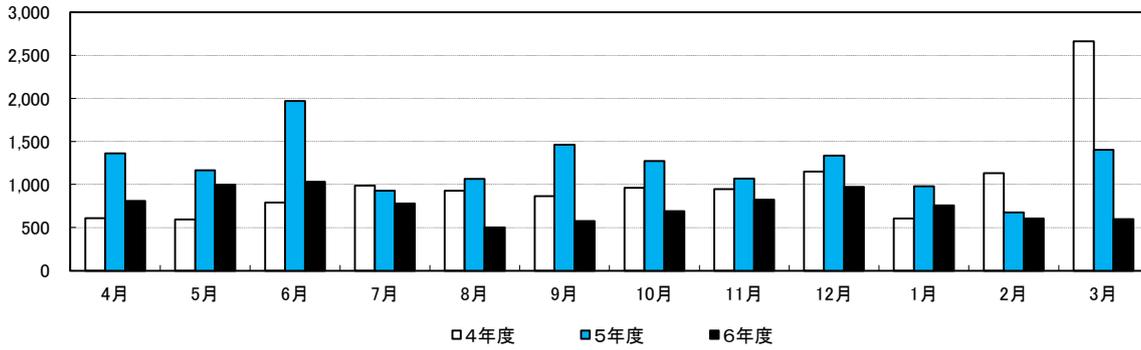
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027	14,004	13,981	13,803	13,692	13,665	13,483	13,944
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682	12,528	12,550	12,352	12,850
6年度	12,234	12,110	12,136	12,060	11,982	11,963	11,867	11,750	11,756	11,608	11,558	11,366	11,866
前月比(%)	△0.96	△1.01	+0.21	△0.63	△0.65	△0.16	△0.80	△0.99	+0.05	△1.26	△0.43	△1.66	—
前年同月比(%)	△9.30	△8.68	△7.05	△6.85	△7.20	△7.15	△7.01	△8.03	△7.30	△7.34	△7.90	△7.98	—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

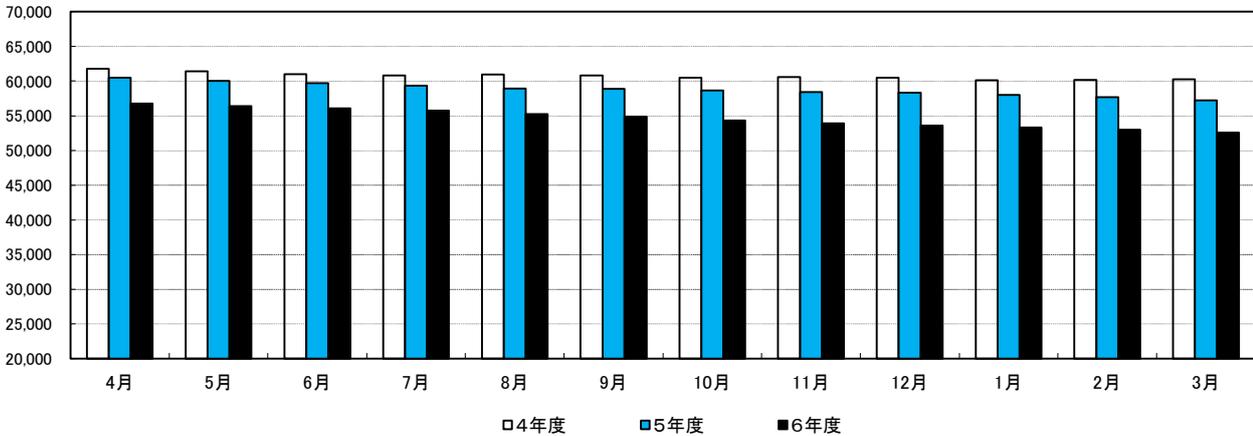
### 信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	609	595	792	988	930	865	960	945	1,150	606	1,131	2,660	1,019
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336	979	675	1,403	1,224
6年度	810	998	1,033	780	501	576	690	825	975	756	606	598	762
前月比(%)	△42.27	23.21	+3.51	△24.49	△35.77	+14.97	+19.79	+19.57	+18.18	△22.46	△19.84	△1.32	—
前年同月比(%)	△40.48	△14.41	△47.51	△15.77	△52.96	△60.6	△45.8	△22.9	△27.02	△22.78	△10.22	△57.38	—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

### 信用保証債務残高(百万円)

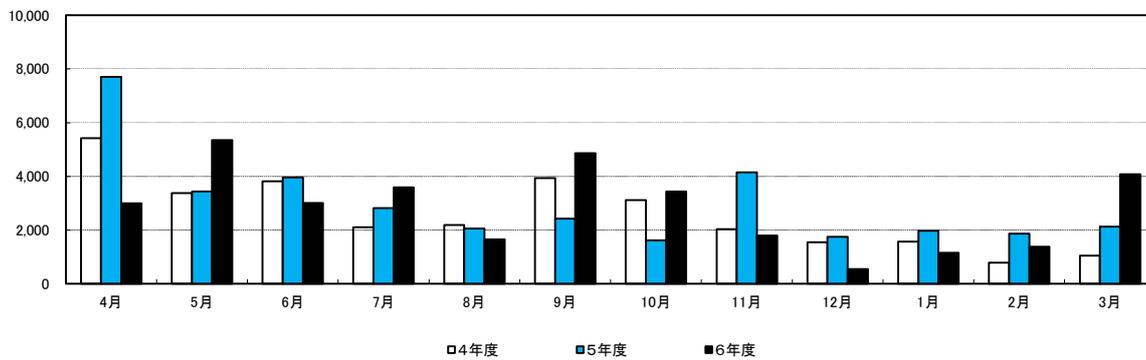


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810	60,512	60,591	60,510	60,108	60,175	60,279	60,743
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365	57,976	57,659	57,190	58,806
6年度	56,758	56,401	56,055	55,783	55,257	54,875	54,341	53,897	53,624	53,308	52,996	52,579	54,656
前月比(%)	△ 0.76	△0.63	△0.61	△0.49	△0.94	△0.69	△0.97	△0.82	△0.51	△0.59	△0.59	△0.79	—
前年同月比(%)	△ 6.16	△6.07	△ 6.11	△ 5.99	△ 6.24	△ 6.85	△ 7.35	△ 7.74	△ 8.12	△ 8.05	△ 8.09	△ 8.06	—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

## 4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

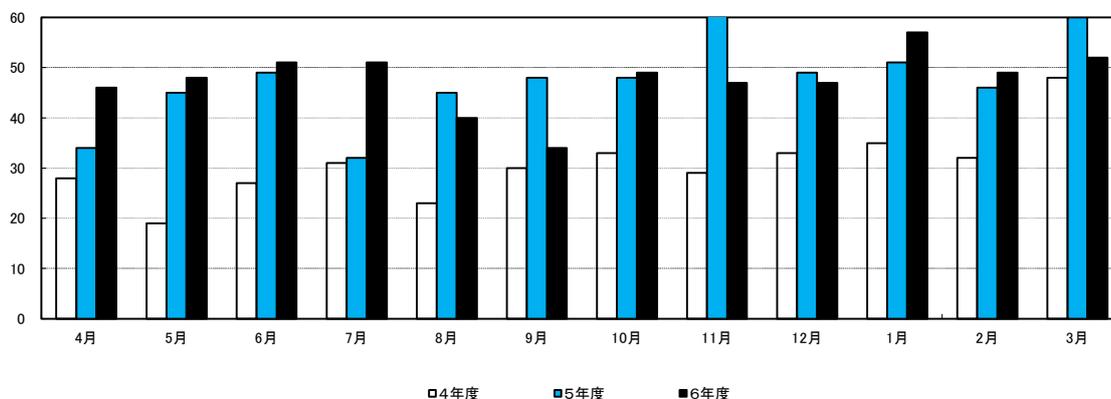


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933	3,120	2,029	1,547	1,576	793	1,052	2,579
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751	1,978	1,866	2,123	2,992
6年度	2,995	5,343	3,007	3,592	1,656	4,862	3,430	1,794	556	1,156	1,381	4,074	2,821
前月比(%)	+41.07	+78.40	△43.72	+19.45	△53.90	+193.60	△29.45	△47.70	△69.01	+107.91	+19.46	+195.00	—
前年同月比(%)	△61.11	+55.23	△23.95	+27.2	△19.53	+100.16	+111.86	△56.79	△68.25	△41.56	△25.99	+91.9	—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

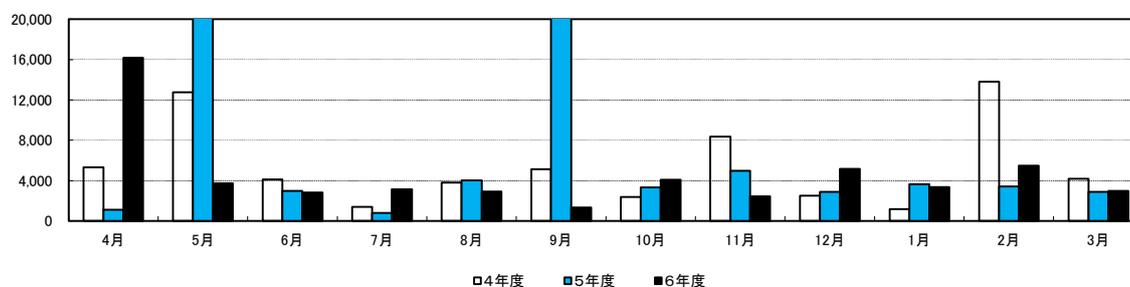
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	28	19	27	31	23	30	33	29	33	35	32	48	368
5年度	34	45	49	32	45	48	48	61	49	51	46	60	568
6年度	46	48	51	51	40	34	49	47	47	57	49	52	571

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)



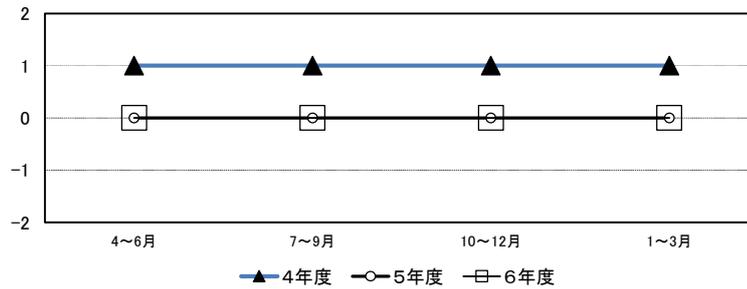
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	5,314	12,765	4,121	1,394	3,815	5,130	2,372	8,351	2,506	1,166	13,817	4,179	64,930
5年度	1,118	63,967	2,976	765	4,020	586,902	3,325	4,949	2,869	3,658	3,412	2,878	680,839
6年度	16,168	3,731	2,823	3,128	2,906	1,326	4,073	2,431	5,155	3,348	5,484	2,972	53,545

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

## 5 地場産業(豊岡かばん)

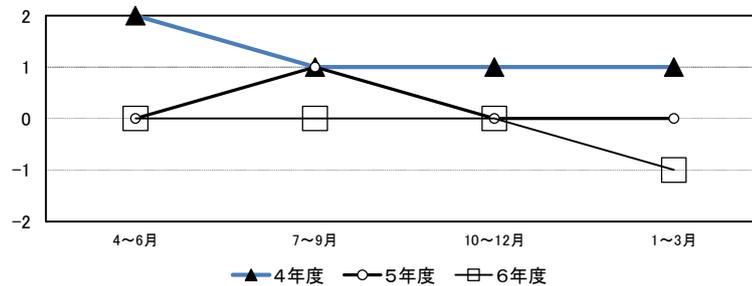
豊岡かばん 売上高 (前期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



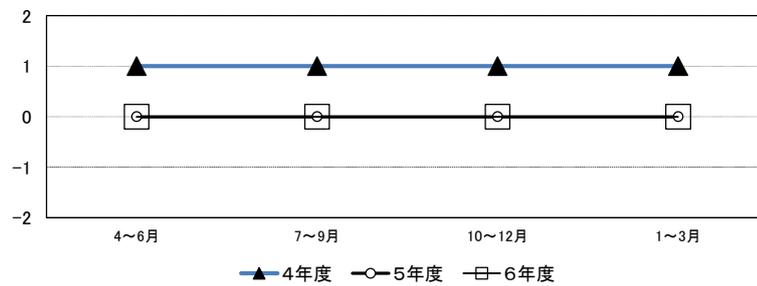
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



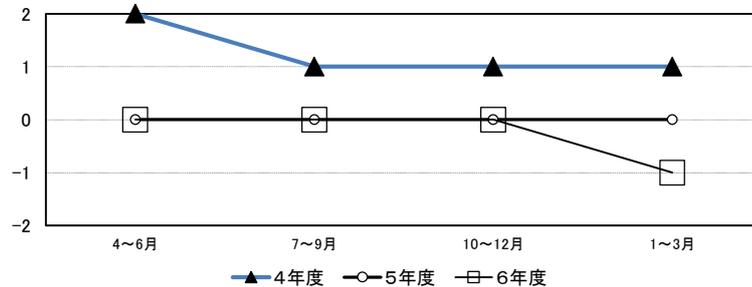
豊岡かばん 生産量 (前期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない

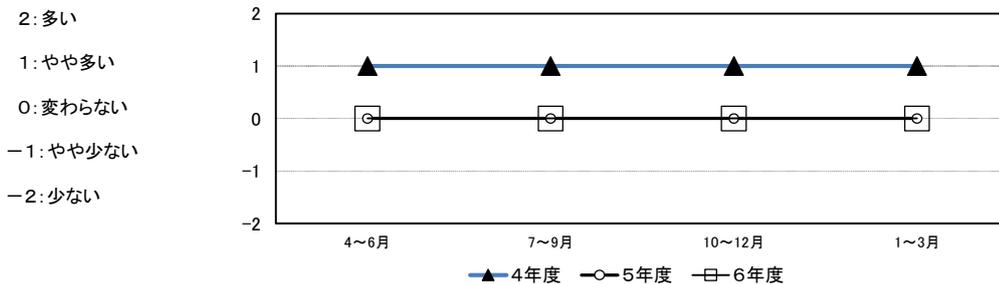


豊岡かばん 生産量 (前年同期比)

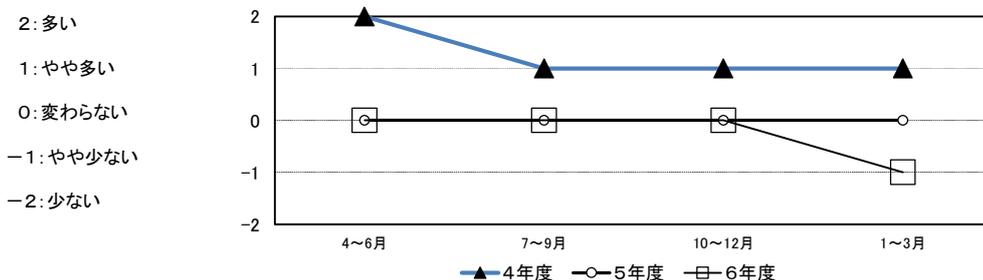
- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和6年10~12月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(令和6年1~3月)と比べて、売上高、生産量、収益ともに、やや少ない。

この時期は、例年、繁忙期であるが物価高騰により、生活必需品がメインとなり、鞆などの非生活必需品の買い替えや新規購買などの個人消費購買力は低下してきている。そのため、多くのメーカーにおいて受注申込量が減少しており、受注量は昨年の同時期より、どこも落ち込んでいる。自社ブランドや「豊岡鞆」の製品を扱っている企業で、順調なメーカーは、人手不足が発生しており、生産量が増加しない。OEMのみの企業は、受注が減ったままで、順調な受注件数がある同じ組合の部品製造の外注を受けるなどで、その場を凌いでいる企業もある。このように、「豊岡鞆」を扱っている企業では人手不足の問題、その他では受注量の減少により、従業員を減らし、家族経営化や他の卸業者に生産部門を売却する企業もある。

昨年、大阪のKITTE専門店をはじめ、全国で5社増え、ふるさと納税の返礼品としての「豊岡鞆」は、安定し好調であり、過去最高の製造本数となった。海外輸出は台湾での「豊岡鞆」の進出を進めているが、販売量は思うように伸びない。販売店舗では、新たな商品を望んでいるが、新商品開発までなかなか手が回らない状況である。

「豊岡鞆」直営店では、インバウンド客での東京のKITTE直営店が伸びている。大阪空港の直売店は順調で、KITTE大阪店は、開店当時の勢いはない。フランチャイズチェーンでは、知名度が高い西日本での販売は概ね良好であるが、関東、金沢での知名度不足のため売上販売高は少ない状況のままである。公式HP、Instagramのテコ入れで、「豊岡鞆」の知名度向上も若干アップしているが、豊岡鞆のネット販売は、昨年度に比べ、やや減少傾向である。「豊岡鞆」においては、ふるさと納税の返礼品は、依然と好調であるが、アルチザンの店舗、ネット販売は、昨年よりも減少しており、経営的にも苦しい状況である。

豊岡鞆協会 回答

## 6 主要業種の概況

旅行運送業	景況感はあまり良くない。燃料となる軽油や各資材の価格高騰に加えて、深刻な乗務員不足が引き続き発生している。需要はあるものの、従業員の不足により対応できていない状況であり、売上が頭打ちしている。特に運転士、整備工が大幅に不足しており、採用・育成に力をいれている。採用面では運転士の求人募集として、運転体験会を実施している。昨年度からは女性限定の体験会も開催しており、採用に至るケースも増えている。
食料品製造業	景況感は悪い。原材料価格の見通しが立たないために、価格転嫁による対応ができておらず利益率が悪くなっている。原材料のみならず資材、輸送に伴う燃料費等で価格高騰が継続しており、これも利益率に悪化を引き起こしている。また、贈答用、家庭用共に主要商品の販売数が伸び悩んでいる。今後は高付加価値商品の販売に力を入れることを検討している。 雇用については、既存従業員の高齢化、新規採用者が定着しないなどの要因で営業、製造部門で不足が生じている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和7年1月)」より

銀行業	管内企業について、多業種で原価上昇による価格転嫁に課題を持つ企業が多く、景況感はあまり良くない。雇用面では、応募母数が少ない状況で高齢化による退職が生じ、人手不足が続いている状況。 事業者向けの融資について、補助金等の利用による設備更新等で設備資金が増加傾向、公的融資制度が終了に伴い運転資金は減少傾向にある。しかし、全体的な融資件数、融資額に大きな変化は見られない。消費者向けの融資についても一定のニーズがあり、大きな変化は見られない状況。
金属製品製造業	主要取引先の製品増強が継続しており、自社製造金属製品の需要の増加が継続している状況。また、原材料価格の高騰について、価格増加分は取引先との協議により概ね価格転嫁を達成しているほか、端材再利用による水平リサイクルの推進など、原材料コストの低下に取り組んでいるため、高騰による経営への影響はないといえる。 雇用については、雇用人員は充足しているが、定年退職等の自然減少分を補うため、通年で経験者採用を実施している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和7年2月)」より

建設業	前期比で売上が5%減少しており、景況感はさほど良くない状況。地域全体で事業数が減少しており、特に県からの発注事業数が減少、それに伴い売上が減少している。当面同様の状況が続く見込み。 雇用面では、現場施工管理職の不足が著しく、特に30代の中堅層が不足している。現場を回す人材の確保と次世代の育成のため、若手人材の新規雇用が喫緊の課題となっている。また、IoT建機の導入を実施しており、従業員の負担軽減のほか、生産性の向上に繋がっている
宿泊業	景況感は良くも悪くもない状況。インバウンド客数が増加しているものの、国内観光客が減少している。地域全体の観光客数はコロナ禍前比では減少したままの状態。また、かねてから続く原材料等の価格高騰に対して、適宜価格改定を行うことで対応している。高騰分を100%は吸収できないが、節約を心がけることで経営に大きな影響は出ていない。 雇用面では、ハローワークでの募集のほか、県外を含む他地域での採用説明会の実施や参加により、新規採用に取り組んでいる。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和7年3月)」より